

ひとが輝くまち



YUZA Town Public Relations

広
報

ゆざ

平成31年 No.695

1



今月の話題

- 年頭のあいさつ 2P
- 祝 ユネスコ無形文化遺産登録 遊佐の古正月行事 4P
- 遊佐町の平成を振り返ろう! Remember! HEISEI 6P
- Uターン促進事業「遊佐町のいくら丼と庄内風芋煮を味わう会」 10P
- ほか

地方創生の取り組みを より確かなものに



皆様方には、輝かしい平成31年の新春をさわやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、「遊佐の小正月行事」アマハゲを含む「来訪神：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。これは、遊佐町に生きる人々の暮らしが育んできた歴史的な行事が世界的に評価されたものであります。本年も酒田港への大型クルーズ船寄港による本町へのツアーが昨年続き3回程予定されているおり、鳥海山・飛鳥ジオパークと合わせて大いに本町の自然・文化を世界に発信する機会にできるものと考えております。

さらに、鳥海山の水循環の保全をはじめとした環境の保全には引き続き取り組む決意を新たにするとともに、活気ある地域づくりをめざしたこれまでの地方創生の取り組みを、より確かなものにしたいと考えております。

そのために、遊佐町総合発展計画（第8次遊佐町振興計画）における産業振興や定住促進、子育て支援の施策をさらに充実させていく必要があります。また、新庁舎建設やパーキングエリアタウンなどのプロジェクトを着実に進め、これらの取り組みを通じて町民の皆さんと共に希望あふれる未来に向けた遊佐町を描いていきたいと考えております。

本年は、新たな年号となる記念すべき年であります。これからも、「子どもたちの夢を育むまち」、「働き場・若者・賑わいのあるまち」、「自然と調和した安全・安心・快適なまち」の実現のため町政運営に努めてまいりますので、皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もまた皆様にとって、より良い年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

遊佐町長 時 田 博 機

多様な民意を 反映できる議会に



新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、平成最後となる新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、岩石採取の反対について町民の皆さまはじめ多くの方々から署名をいただきました。町の宝である鳥海山を愛する民意が表れたことと思っております。議会としても県に要望書を提出しております。これからも町民の皆さまと一丸となって頑張ってまいります。

平成28年の鳥海山・飛鳥ジオパーク認定、さらに、昨年11月には「遊佐の小正月行事」アマハゲを含む「来訪神：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産の登録と、祝事が続いたことは遊佐町の名前を広く知っていただく良い機会となりました。

議会では、平成25年に議会基本条例を制定しています。地方自治法の規定を遵守するとともに、議会に課せられた責務を遂行するため、政策決定の過程において民意を反映させる開かれた議会をめざしています。そのために毎年11月頃には「町民と議会の懇談会」を開催しております。昨年は、多くの方々から参加をいただき、大変参考になるご意見をいただきました。

議会は、いかに民意を反映できるかが重要な課題であります。その議会機能をより一層発揮していくためには、何よりも町民参加の充実を図り、多様な民意を審議、議決に反映していくことが大切だと思っております。町民の皆さまからは、引き続きご支援、ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまにとりまして、実り多い年になりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

遊佐町議会議長 土 門 治 明

祝 ユネスコ無形文化遺産登録

遊佐の小正月行事(アマハゲ)



ユネスコ無形文化遺産保護条約第13回政府間委員会において、「来訪神：仮面・仮装の神々」の代表一覧表記載に関する審議が行われ、11月29日(木)、「記載」との決議がなされました。これにより、「遊佐の小正月行事(アマハゲ)」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが正式に決定いたしました。

ユネスコ無形文化遺産とは

ユネスコ無形文化遺産は、2003年に採択され、2006年に発効された無形文化遺産保護条約に規定されています。無形文化遺産保護条約は、世界各地における生活形態や価値観の変化等に伴い、急速に失われつつある無形文化遺産を保護することを目的として採択されました。その対象は、口承伝承、芸能、社会的慣習、儀式、祭礼行事、自然および万物に関する知識・慣習、伝統工芸技術です。条約では、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」(代表一覧表)や「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」の作成等を定めています。

「来訪神：仮面・仮装の神々」とは

「来訪神：仮面・仮装の神々」とは、正月などの年の節目となる日に、仮面・仮装の異形の姿をした者が「来訪神」として家々を訪れ、新たな年を迎えるにあたって怠け者を戒めたり、人々に幸や福をもたらしたりする行事です。各地域において、時代を超え、世代から世代へと受け継がれてきた年中行事であり、それぞれの地域コミュニティでは、「来訪神」行事を通じて地域の結びつきや、世代を越えた人々の対話と交流が深められています。



女鹿のアマハゲ

ユネスコ無形文化遺産 登録の経緯

「来訪神・仮面・仮装の神々」は、「男鹿のナマハゲ」が平成23年のユネスコ無形文化遺産保護条約第6回政府間委員会において、既に登録されていた「甕島のトシドン」との類似性を指摘され、「情報照会」の決定を受けたことを踏まえ、本町の「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」を含む、国指定重要無形民俗文化財の10件を構成要素としてグループ化し、「甕島のトシドン」の拡張提案としたものです。

平成28年6月には、ユネスコの審査件数の上限を上回る提案が各国よりあったため、無形文化遺産の登録がない国の審査を優先するという国際ルールに基づき、審査が1年先送りされることとなりました。

これを受け、昨年3月に、「来訪神・仮面・仮装の神々」を再提案し、平成30年10月に、無形文化遺産保護条約政府間委員会の評価機関より「記載」と勧告されました。

そして、平成30年11月26日(月)からモリシヤス共和国のポートルイスにおいて開催された第13回政府間委員会において、「記載」との決議がなされました。

これにより、「来訪神・仮面・仮

装の神々」は、ユネスコ無形文化遺産代表一覧表に記載されることとなり、「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されるのが正式に決定しました。

遊佐の小正月行事とは

「遊佐の小正月行事」とは、遊佐町吹浦地区の女鹿・滝ノ浦・鳥崎集落に伝わる民俗行事です。アマハゲ、鳥追い、そしてホンデ焼きの三つの行事をまとめて「遊佐の小正月行事」として、平成11年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。アマハゲは、正月に仮面を被り、藁蓑（ケンダン）をつけたアマハゲと呼ばれる異装の訪問者が各家を訪れ、家人の怠惰を諷め、新年を祝福してまわ



滝ノ浦のアマハゲ



鳥崎のアマハゲ

注意事項

アマハゲは、集落に伝わる民俗行事です。その舞台は一般家庭であり、集落外の方に公開をしているものではありません。巡行の雰囲気を感じ取っていただくことはできませんが、アマハゲは神様であり、その行事は神事であることをご理解ください。

る行事です。鳥追いは、田畑の害鳥を追いかけて豊作を願う行事です。ホンデ焼きは、門松（ホンデ）や注連縄、ケンダンを燃やす行事です。「遊佐の小正月行事」は、来訪神行事と鳥追いやホンデ焼きの行事などが組み合わされ、現在も伝承されています。

ユネスコ無形文化遺産 登録を受けて



遊佐のアマハゲ
保存会 会長
遊佐町長
時田 博機

「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」は、遊佐町を代表する無形文化遺産であるとともに、世代を越えて伝統を共有し、地域の連携と結びつきを強め、住民にとって社会的なつながりを見直すきっかけともなっています。

このたび「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが正式に決定いたしました。

吹浦地区の女鹿・滝ノ浦・鳥崎集落において伝承されてきた民俗行事が、世界を代表する文化遺産として認められたことは、遊佐町として、この上のない喜びであります。

地域の貴重な文化財を守り伝承していくため、地域の皆さまの思いに寄り添いながら、引き続き、町として支援してまいりたいと考えております。

結びになりますが、「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」が保存・伝承されてきたことは、これ続けてきた地域の皆さまのお力によるものであり、そのご努力に心から敬意を表し、そして登録に向けてご協力を賜りました皆さま方に、深く御礼を申し上げます。

遊佐町の平成を振り返ろう!

Remember! HEISEI

—平成の思い出写真特集—

今号は、平成という年号で最後の新春号。平成という時代は、多くの出来事が起きた激動の時代ではなかったでしょうか。遊佐町においてもこの平成の30年間は、新しくできたもの・無くなってしまったもの・変わったことなど、たくさんの出来事があったと思います。このコーナーでは、皆さんから投稿いただいた平成の思い出写真をご紹介します！写真とともに、平成の30年間に想いを馳せてみましょう。



平成元年

ペンネーム：FM

タイトル

平成元年
吹浦地区出初式

この頃の主な出来事

平成元年

- 明仁皇太子が皇位継承「平成」の元号を発表
- 消費税導入（3%）
- ベルリンの壁崩壊

遊佐町での出来事

- 第1回夕日まつりが開催
- 宮城県鳴子町と兄弟町としての交流が始まる

平成3年

遊佐町での出来事

- 第1回遊佐町歩こう大会「鳥海ワンデーマーチ」が開催
- 町立図書館が竣工

平成4年

遊佐町での出来事

- 遊佐ショッピングセンター「エルパ」がオープン

平成5年

- ・日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が開幕

遊佐町での出来事

- 第1回奥の細道鳥海ツーデーマーチが開催
- 新遊佐中学校開校
- 「吹浦田楽」「蔵岡延年」が山形県無形民俗文化財に指定

平成7年

- ・阪神・淡路大震災が発生

平成8年

遊佐町での出来事

- 吹浦保育園の新園舎が完成
- 旧青山本邸が一般公開を開始

この頃

- ・パソコン・携帯電話が普及し始める

平成元年

ペンネーム：FM

タイトル

吹浦公民館祭り
アマハゲ特別展示



平成 6 年

ペンネーム：わらびたたき丸

タイトル

最上川自作船下り大会



平成7年

ペンネーム：わらびたたき丸

タイトル

浪漫飛航



この頃的主要出来事

平成9年

- 消費税率が5%になる

遊佐町での出来事

- 西浜コテージ村・ふれあい広場がオープン
- 道の駅鳥海ふらっとがオープン

平成10年

- 長野冬季オリンピック開催

遊佐町での出来事

- サンセット十六羅漢がオープン
- 農林業体験実習館（さんゆう）がオープン
- 鳥海自然文化会館「遊楽里」がオープン
- 特別養護老人ホームゆうすい、デイサービスセンターあいあいが開所
- 森の公園、遊ぼっと開園

平成11年

- 男女共同参画社会基本法が公布される

遊佐町での出来事

- 遊佐の小正月行事（アマハゲ）が国の重要無形民俗文化財に指定

平成12年

- 西暦2000年（ミレニアム）
- 機器の2000年問題が話題に
- 2000円札発行

遊佐町での出来事

- 蕨岡小学校・遊佐小学校の新校舎完成
- ハンガリー・ソルノク市と友好交流都市協定を結ぶ
- 旧青山本邸が国指定重要有形文化財に指定

平成13年

- 米同時多発テロ事件
- 東京ディズニーシーが開園

遊佐町での出来事

- 遊佐保育園の新園舎が完成

平成14年

- サッカー・ワールドカップ日韓大会が開催
- 多摩川に現れたアゴヒゲアザラシのタマちゃんが話題に
- 完全学校週5日制がスタート

平成15年

- 地上デジタル放送が東京・大阪・名古屋で放送開始

遊佐町での出来事

- 少年町長・少年議員制度がスタート

平成8年

ペンネーム：すぎのっこ

タイトル

杉の子旧園舎



平成11年

ペンネーム：遊佐ちよっこりさん

タイトル

地区住民運動会
懐かしの風景



平成12年

ペンネーム：遊佐ちよっこりさん

タイトル

ありがとう旧校舎



平成14年

ペンネーム：ギョギョ!

タイトル

十里塚地引網

平成15年

ペンネーム：いなほっ子

タイトル

稲川小学校100周年



この頃的主要出来事

平成26年

- 消費税が8%になる

遊佐町での出来事

- 遊佐町子どもセンター（わくわく未来館）がオープン
- 稲川小学校、西遊佐小学校が閉校し、藤崎小学校が開校
- 遊佐町総合運動公園「鳥海パノラマパーク」がオープン

平成27年

- マイナンバー制度が施行、個人番号が指定される

遊佐町での出来事

- 「ふるさと休日」がスタート
- 稲川まちづくりセンターが完成

平成28年

- 熊本地震が発生

遊佐町での出来事

- 西遊佐まちづくりセンターが完成
- 鳥海山・飛鳥ジオパークが日本ジオパークに認定
- 吹浦地区防災センターが完成

平成29年

- 上野動物園パンダの赤ちゃん「シャンシャン」が一般公開

遊佐町での出来事

- 遊佐小学校でコミュニティ・スクール導入

平成30年

- 築地市場の営業が終了し、豊洲市場へ移転
- 北海道胆振東部地震が発生

遊佐町での出来事

- 消防署遊佐分署の新庁舎が完成
- 遊佐の小正月行事（アマハゲ）がユネスコ無形文化遺産に登録

平成27年

ペンネーム：高橋 功

タイトル

ルーツ湧水



平成29年

ペンネーム：和島

タイトル

月光川でグランピング



平成29年

ペンネーム：池田 唯

タイトル

水面に映る夜花火



平成30年

ペンネーム：池田 唯

タイトル

祝！成人！

次の年号はどんな時代？

たくさんの思い出写真の投稿、ありがとうございました！

投稿された写真の中には、懐かしい写真や、時代を感じる写真があったのではないのでしょうか。皆さんにとって、平成はどんな時代でしたか？ 良い時代だった人も、あまり良い時代ではなかった人も、次の年号はより良い時代となるように、平成の思い出を胸に、笑顔で前向きに進んでいきましょう！

● 岡／企画課企画係 ☎72-4523

たくさんの投稿ありがとう！

